

# 三島地域多世代交流づくりワークショップ

## 令和8年春からかんもす大学が開校します

### ～かんもす大学が立ち上がるまでのキセキ～

#### 1年目

コミュニティセンターを核とした地域課題の抽出と主体性のあるプロジェクトチームを発足するために西村遼平氏を講師に迎え、地域の未来について議論を交わしました。「地域に関心を持ち、主体性を持って行動するプレイヤー(実践者)の創出」を当面の目標として地域活性化につながる活動を進めることにしました。



#### 2年目

活動に賛同してくれるプレイヤーの創出のために、地域の第一線で活躍している方を講師に迎えて三島地域の課題と可能性を再考するワークショップを実施しました。その中で、改めて三島の誇れる資源や歴史を子ども達や地域内外の人へ伝えていき、「地域愛や地域の誇り」を育ませる土台づくりの必要性を感じました。



#### 3年目

議論を重ねていく中で、すでにある三島の歴史や文化を学びに変えながら関係人口を増やす取り組みとして『かんもす大学』という市民大学を設立することにしました。地域をキャンパスとし、地域の人々が教授にも生徒にもなる仕組みを構想しました。ユーモアあふれるカリキュラムを体験しながら楽しく地域のことを知り、地域と関わることをコンセプトに運営体制・ロゴデザイン・収支計画などを整え、説明会を開催しました。持続可能で自走する団体を目指してビジネスコンテストにも挑戦し、2026年春の開校に向けて準備を進めています。



#### かんもす大学の校章



かんもす大学  
Kanmosu University

三島出身の画家・イラストレーター八木 宇気(やぎひろき)氏に制作していただきました。  
旧三島町の町章をベースに三島の花「かたくり」をモチーフとしています。円のデザインは三島音頭の「輪の中へ」という振付をイメージし、地域外の人にも三島の和に迎え入れるという想いが込められています。



学長 大島 真之

三島地域のことを楽しく学ぶ「かんもす大学」がスタートします。

かんもすとは、方言の「かんもする=かき混ぜる」という意味と「醸す」という意味を掛け合わせています。地域内外・世代を超えて、人と文化が混ざり合い、時間をかけて自然と地域ができあがっていくイメージが名前に込められています。



かんもす大学  
Kanmosu University

e-mail [kanmosu.daigaku@gmail.com](mailto:kanmosu.daigaku@gmail.com)



ノート



インスタグラム